

# 知事記者会見の概要

日 時：令和8年3月19日(金) 10:01～10:16

場 所：502会議室

出席記者：9名、テレビカメラ4台

## 1 記者会見の概要

広報広聴推進課長開会の後、知事から1件の発表があった。

その後、フリー質問があり、知事等が答えて閉会した。

## 2 質疑応答の項目

### 発表事項

- (1) 令和8年度人事異動及び組織機構の改正について

### フリー質問

- (1) 発表事項に関連して

<幹事社：読売・日経・YTS>

## ☆報告事項

### 知事

皆さん、おはようございます。

早速ですが、令和 8 年度の人事異動と組織機構の改正について申し上げます。

資料をご覧ください。「令和 8 年度県政運営の基本的考え方」に示した「県民のウェルビーイングの向上」、「県内経済の持続的な成長」、そして「安全・安心な地域づくり」、この 3 つの重点化の方向性に沿った様々な施策を力強く推進し、多様な人材を惹きつける魅力あふれる山形県の実現に向けて、令和 8 年 4 月 1 日付けで人事異動並びに組織機構の改正を行うこととし、本日、人事異動の内示を行ったところです。

まず、人事異動について申し上げます。

「人事異動の基本方針」としましては、次の 4 点に留意をいたしました。

1 点目は、適材適所の人事配置であります。適材適所の原則に立ち、意欲的で創造力に富む人材の積極的な登用を行っております。

2 点目は、女性職員の積極的な登用と活躍の場の拡大に配慮した人事配置であります。「女性職員の登用状況」につきましても、配布資料の 2 ページ、裏面の下段の表をご覧ください。

部長級について申し上げますと、知事部局で過去最多となる 7 名の女性職員を、「しあわせ子育て応援部長」、「健康福祉部長」、「観光文化スポーツ部長」、「県土整備部技術統括監」、「会計管理者」、「最上総合支庁長」、「庄内総合支庁長」に登用いたします。

また、次長級は 9 名、課長級には 90 名の女性職員を登用し、この結果、令和 8 年度の知事部局の女性管理職の数は 106 名、管理職に占める女性職員の割合は 25.4%、前年比でプラスの 0.2 ポイントになりました。割合は過去最高となります。

このほか、課長補佐級以下の職員につきましても、各部門に女性職員を積極的に起用した結果、知事部局の女性の役付職員（係長級以上）は、812 名。前年比で 10 名プラスです。役付職員に占める女性職員の割合は 30.9%（前年比+0.5 ポイント）となり、人数・割合ともに過去最高となりました。

資料の 1 ページに戻りまして、基本方針の 3 点目、4 点目であります、総合支庁等出先機関と本庁との交流の推進、人材育成の視点に立った交流・派遣の実施であります。

市町村や地域等現場の声を大切にする県政を展開するため、総合支庁等出先機関と本庁との交流に努めたほか、県内市町村との相互交流、省庁・民間等への派遣を引き続き行うこととしております。

次に、組織機構の改正について申し上げます。

「組織機構の改正」につきましても、簡素で効率的な組織運営の観点から組織・業務の効率化を徹底するとともに、直面する多くの県政課題に積極果敢にチャレンジしながら、真の

豊かさと幸せを実感できる社会を実現するための体制整備に留意いたしました。

組織機構の改正ポイントにつきましては、A4横の資料に記載のとおりであります。主なものについて申し上げますと、

「①重要プロジェクトの戦略的推進」につきましては、県政の最重要プロジェクトであります人口減少対策について、各界が主体となった取り組みを促進するとともに、総合発展計画と連動したアクション展開を図るため、企画調整課に『重要プロジェクト企画室』を新設いたします。

また、全国第1位である本県の「居住人口あたりの関係人口数」をさらに拡大するとともに、屋内スケート施設や新博物館の整備など、県民の皆さまのウェルビーイング向上につながる重要施策を統括し、全庁一体的な推進を図るため、みらい企画創造部に『重要プロジェクト・地域未来戦略監（兼）次長』を配置いたします。

「②交通施策の一体的推進」につきましては、滑走路延長をはじめとする県内空港の機能強化に向けた検討を迅速に進めるため、航空・空港関係施策をみらい企画創造部に集約します。県内空港の滑走路延長や米沢トンネル（仮称）の整備を所管する『交通プロジェクト推進課』と、米坂線の復旧や市町村におけるバス路線の維持・改善など地域交通施策を所管する『地域交通政策課』を新設いたします。

併せまして、この再編に伴い、港湾の整備や維持管理を所管する『港湾課』を新設いたします。

「③クマを含めた鳥獣被害対策の強化」につきましては、大量出没を踏まえたクマ対策を強化するとともに、鳥獣被害対策を担う中間支援組織の設立に向けた検討を進めるため、みどり自然課に『鳥獣被害対策室』を新設いたします。

「⑤西村山地域における新病院の整備推進」につきましては、西村山地域の新病院整備に向けて、運営母体の設立や設計・建築など、開院に向けた具体的な検討を進めるため、『西村山新病院整備推進室』を新設いたします。

資料の右側に移りまして、「⑥100億企業の倍増に向けたスタートアップの推進」につきましては、県内経済に波及効果を生む年間売上100億円以上の企業の倍増を目指し、近年市場規模が拡大しているクリエイティブ産業や、ものづくり分野におけるスタートアップ支援に一体的に取り組むため、産業技術イノベーション課に『スタートアップ・新事業推進室』を新設いたします。

「⑦『2026年に行くべき世界の旅行先』としての観光地づくりの推進」につきましては、「2026年に行くべき世界の旅行先25選」に日本で唯一本県が選出されたことを追い風に、将来にわたって世界的な観光地として国内外の様々な人々から訪れていただける付加価値の高い観光地づくりを推進するため、本県での観光を快適に楽しむことができる受入環境の整備を進める『国際観光・高付加価値創出課』と、国内外へのプロモーション等を展開する『観光プロモーション課』を新設いたします。

「⑨水産関係出先機関のガバナンス強化」につきましては、徹底した組織マネジメント

による水産職場のガバナンス強化、3つの公所にまたがる水産行政・試験研究の一体的展開を図るため、水産研究所、内水面水産研究所及び庄内総合支庁水産振興課を統合して、『水産技術振興センター』を新設いたします。

以上が、令和8年度の人事異動及び組織機構の改正の概要でございます。

☆フリー質問

記者

山形新聞稲村です。おはようございます。女性職員の登用状況についてお聞きできればと思います。課長級以上25.4%と、占める割合が過去最多というようなご説明があったかと思いますが、当初25%というのを確か目標にして、人事異動というのはこれまでも進められてきたかと思いますが、これまでの実際に増やしてきた中での成果みたいなものをどのような点に感じていらっしゃるのかということと、今後割合的にはどういう水準まで上げていきたいかというお考えがあればお聞きできればと思います。

知事

はい、ありがとうございます。そうですね、着々と比率を上げてきたということはございます。目標もございますけれども、成果というお話でありますけれども、やはり、適材適所が第一なんですけれども、それは実は女性職員の登用とも密接に関連しております、やはり性別に関わらずしっかりとお一人お一人が能力を発揮していただきたいという思いがありましたので、毎年だいたい、比率の増減はあるのですけれども、男性・女性の比率の割には管理職が少ないというようなこともありまして、できる限り、県民の皆さんも男性・女性、社会人口が半々になっていますので、両性の視点を反映することができる、そういう環境が大事だなと常々思ってまいりました。その両面合わせて考えて、少しずつではありますが、着々と女性管理職の登用が進んできたということで、両性の視点が反映されるようになってきたかなというふうに思っています。

また、そこから付随するものとして、働きやすい職場と言うのですかね、どちらかの管理職しかいないというような職場よりは、両方の管理職、男性も女性も管理職がいたほうが良いと思っていますので、そういう意味で働きやすいということにもつながっているのかなというふうに思っております。

記者

今後はどの水準まで、数字的な何かはございますか。

知事

そうですね、目標として確か、政府もありましたけど、本県としても、何年まででした

かね、30%までというのはあったと思います。

人事課長

はい。では、女性職員の登用に関する数値目標の関係でございます。現行、知事部局におきましては、令和3年度から令和7年度までの5年間を計画期間としまして、特定事業主行動計画を策定しておりまして、令和7年度、4月1日の人事異動までに25%以上という目標を掲げておりました。

次期計画につきましては、令和8年度から12年度までの5年間ということで、今のところ、令和12年4月時点で30%以上を目標として設定したいと考えているところでございます。

以上です。

知事

そういうことになっております。